

まちの話題



ISA City Topics



伊佐市ふれあい駅伝

「1秒差で曾木チーム優勝！」

12月2日、第5回伊佐市ふれあい駅伝競走大会が開催され、曾木チームがゴール前で大口中央を抜き、初優勝しました。

冷たい雨が降りしきる中、14チームが菱刈環境改善センター前をスタート、市陸上競技場のゴールまで、13区間24.1kmで健脚を競いました。

悪条件で心配された選手たちですが、沿道からのたくさんの声援で事故等なく力走り、好記録も生まれました。



区間賞（敬称略）

1区	湯田桜太朗（曾木）	2分55秒
	山下渉気（大口中央）	
2区	松木祐二（本城）	8分33秒
3区	森真一（大口中央）	7分14秒
4区	宮下透（曾木）	7分13秒 新
5区	岸良楓也（本城）	3分43秒
6区	山脇秀和（羽月）	5分28秒 新
7区	永井智大（大口東）	10分01秒
8区	今村佑美（羽月）	3分26秒
9区	田之上昭弘（本城）	4分21秒
10区	三浦二千夏（山野）	4分05秒
11区	蔵元彰弘（大口中央）	5分26秒
12区	椋山諒平（忠元）	4分43秒
13区	鶴丸怜（曾木）	8分02秒

各チーム成績

①曾木	1時間20分17秒	⑧大口東	1時間25分01秒
②大口中央	1時間20分18秒	⑨本城	1時間25分18秒
③忠元	1時間20分54秒	⑩湯之尾	1時間27分09秒
④羽月	1時間22分27秒	⑪田中B	1時間30分21秒
⑤菱刈	1時間22分56秒	⑫牛尾	1時間33分45秒
⑥山野	1時間23分00秒	⑬田中C	1時間35分40秒
⑦田中A	1時間23分31秒	⑭針持	1時間37分17秒

クラス優勝	A：曾木 B：大口中央 C：菱刈
躍進賞	菱刈 7分1秒短縮

「森からの恩恵を知ろう」



山野小学校で11月22日、県の森林環境税を活用した環境学習「水と森の学校」が行われました。

3年目の今年は、「森からの恩恵を知ろう」と題して、「かごしまみどりの基金」緑化活動推進委員指導のもと、カシの苗木づくりや熊野神社でクルミ入りのそばクレープづくりに挑戦しました。

参加した5年生とその保護者などおよそ25人は、枝葉を伸ばし大きく成長する姿を想像しながら150鉢の苗木をつくり、その母なる大木に囲まれた境内で自然の恵みいっぱいクレープを味わいました。

たくさん採れました♪



11月21日、明徳寺保育所の園児38人が、青木の畑でいもほり体験をしました。これは青木在住の内村榮さんの呼びかけで毎年開催される恒例行事となっています。少し肌寒い中での活動となりましたが、子どもたちは寒さも忘れて、必死になっていも掘りをしていました。収穫した芋は、27日の誕生日会に合わせ焼き芋大会を行い、みんなでおいしくいただきました。「内村さん、いつもありがとうございます。」

小型動力ポンプを購入



消防団は、資機材の点検・操法訓練を行いながら有事の際に備えています。しかし、消防資機材については、年数がかなり経過し老朽化しているため、火災の際の消火活動に支障をきたす恐れがありました。今回、コミュニティ助成事業（宝くじ）を活用し、小型動力ポンプを第8分団（崎山班）に配備しました。これにより、地域の消防団に対する信頼と消防力の強化が図られます。

郷土が生んだ偉大な歴史小説家 海音寺潮五郎

伊佐市出身の文豪、海音寺潮五郎は県内で唯一の直木賞作家であり、同氏の遺徳を偲び偉業を顕彰する「海潮忌・文学フェスティバル」が開催されました。文学フェスティバルでは、銀杏文芸賞と読書感想文・画の表彰式がそれぞれ行われ、賞状と盾が贈られました。そして、受賞者を代表して山野小学校6年の三浦二千夏さんが読書感想文の発表をしました。そのあと銀杏文芸賞の選者による鼎談も開催され、なごやかな雰囲気の中で、文学にふれるひと時となりました。市立大口図書館には、海音寺文庫が設置してあります。ぜひこの機会に海音寺文学にふれてみてください。 ※受賞者一覧は6頁



次の方が、それぞれの分野で功績が認められ、受賞されました。おめでとうございます。

2012 秋の叙勲 瑞宝単光章



若松吉美さん（中戸切・79歳）

更生保護功労者法務大臣表彰



有蘭繁敏さん（下手風呂元・75歳）

出来たて「甘〜い」豆腐



湯之尾小学校の3年生18人は12月11日、自分たちで育てた大豆を使って豆腐作りを体験しました。

指導したのは、地産地消活動に重点をおき、地域産物の活用や食文化の伝承に取り組む「伊佐地区生活研究グループ」の皆さんです。

ミキサーで細かくした豆を釜で煮て、豆乳や湯葉ができる過程を学び、メインのおぼろ豆腐の試食では、「豆の香りがする」と、自然の香りそのままの味を楽しみました。

その他、おからで作ったサラダなども好評で、「家でも作りたい」と話していました。

久七トンネル防災訓練



12月4日、久七トンネルで防災訓練が行われました。この防災訓練は、毎年人吉市と合同で行われており、トンネル内での災害発生時に、迅速かつ安全に対応できるようにするためのもので、当日は普通自動車とマイクロバスが正面衝突し、さらに後方の車も追突したという想定で行われました。

今年は伊佐市医師会の協力もあり、車内に閉じ込められた重傷者を救助し、伊佐市側の坑口に設置したテントに救急車で搬送するという一連の訓練で、事故発生時の対応や各機関との連携体制の強化を図ることができました。

地域貢献にありがとう



12月3日、林建設株式会社の労働安全衛生大会で、近隣住民も参加した防災訓練や交通安全教室が開催されました。

今回は、消防による「AEDを使った救命処置の実技」や警察による「自動車の死角に関する注意」などの指導を受け、緊急時に落ち着いて行動するための知識と身近にある危険について学びました。

これまでも市内の美化活動やイベントの共催など、多数のボランティア活動を行ってきた同社は、災害時、近隣住民の避難所としての機能を向上させるため、炊き出し訓練や災害救助用品の備蓄なども行っています。

「地域貢献と安心の提供に感謝いたします。」

ふるさと企業大賞（総務大臣賞）



この賞は、(財)地域総合整備財団（ふるさと財団）が平成14年度から実施しているもので、「ふるさと融資」を活用して市町村から融資を受けた企業のうち、地域振興に貢献した民間事業者に贈られるものです。

本年度は、全国多数の企業の中から9社のみが受賞しており、その一つが「大口酒造(株)」です。蔵元が足並みをそろえ大きな力として一つに結集し、農業中心の地域で製造業分野として安定的な雇用を創出していることや市イベントへの協力など地域貢献活動が評価され、受賞となりました。

わがまちの地域振興に欠かせない存在であり、これからも地域に愛される企業として期待します。受賞、おめでとうございます。